

3人中千種

食べ物への感謝学ぶ

養鶏場でトライやる

生命の大切さ見つめ直
そうと、千種中学校(突
栗市千種町)の生徒3人

が4日、自分たちで世話
をした鶏をさばいて食べ
る「命の学習」に取り組
んだ。戸惑っていた生徒
も鶏に感謝して口にし
た。

中学2年生が体験する
「トライやる・ウィーク」
の一環。同町岩野辺で養
鶏場「いまい農場」を営
む今井和夫さん(52)が10

年前から生徒を受け入
れ、命の大切さを伝え続
けている。

今井さんは、かつて大
阪で中学校教諭をしてい
たが、1990年に同
町に移り住み、養鶏場
を始めた。農場の鶏は町
内の給食にも出荷され
る。

生徒たちは5月31日か
ら、鶏舎の掃除や餌やり
を体験し、最終日の4日
にさばいた。生きた鶏を

さばく際は手を震わせ、
涙を浮かべたが、羽を
むしり、包丁を入れた。

今井さんの指導を受け
約1時間で、胸肉やも
肉などにきれいに分け
た。

最後は全員でバーベキ
ュー。片岡郁弥君(13)は
「最初は怖かったけど、
自分たちの食べ物と思っ

今井さんの指導を受
けながら、ももや胸、
手羽に分けていく生
徒たち―突栗市千種
町岩野辺



て頑張った。これからは
物を残さない」と誓って
好き嫌いをなくし、食べ
いた。(安田英樹)